

第一回 クライアント管理勉強会

情シス目線で考える！大阪北部地震、あの時どうすべきだった？

第二部：実体験共有＆グループディスカッションディスカッション

第2部の進め方について【お願い】

第2部では、みなさんに少しでもたくさん発言して頂くため、グループに分かれて頂きます。

ご自分の体験を教えてください！

- ・ 当日(6/18)、**ご自分が**、どの様な状況に置かれ、どの様に対処されたか？ をまず、教えてください。

御所属企業の対応を教えてください

- ・ **御所属企業が**、当日(6/18)、地震に対して、どの様な対応を探られたのか？ を教えてください。

司会進行はおまかせください

- ・ 各グループにおけるディスカッションの司会進行は、各グループの司会進行役を担当する、座長／副座長 におまかせください。

発表：Aグループ（関西事業所の従業員数 100人以上の企業が中心のグループ）

■ 対策本部の場所

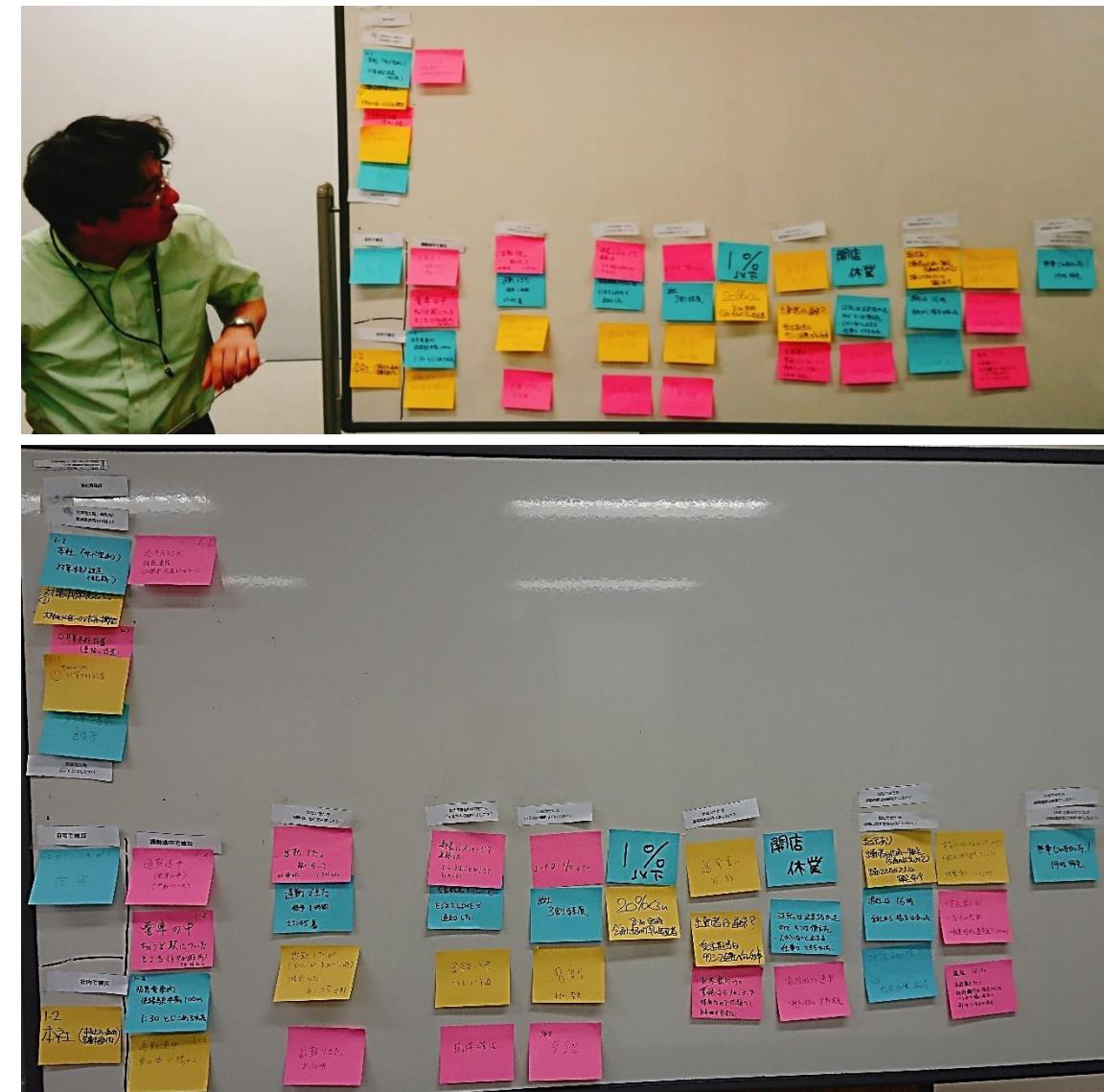
- 本社が関西にある場合は、関西に対策本部があった
- 総務が社内サイトにまめに情報をあげていた

■ 出退勤状況

- 勤務地が被災地から離れている企業が多かった
- 被災地近くの企業は通勤に苦労した
- 退勤はだいたい電車の運転が再開された頃
- 部門柄、何としてでも出社した方が多かった

■ 連絡手段

- 安否確認システムの利用と個別対応がメイン
- 電話はつながらず



発表：Bグループ（関西事業所の従業員数 50~100人の企業を中心のグループ）

■ 対策本部の場所

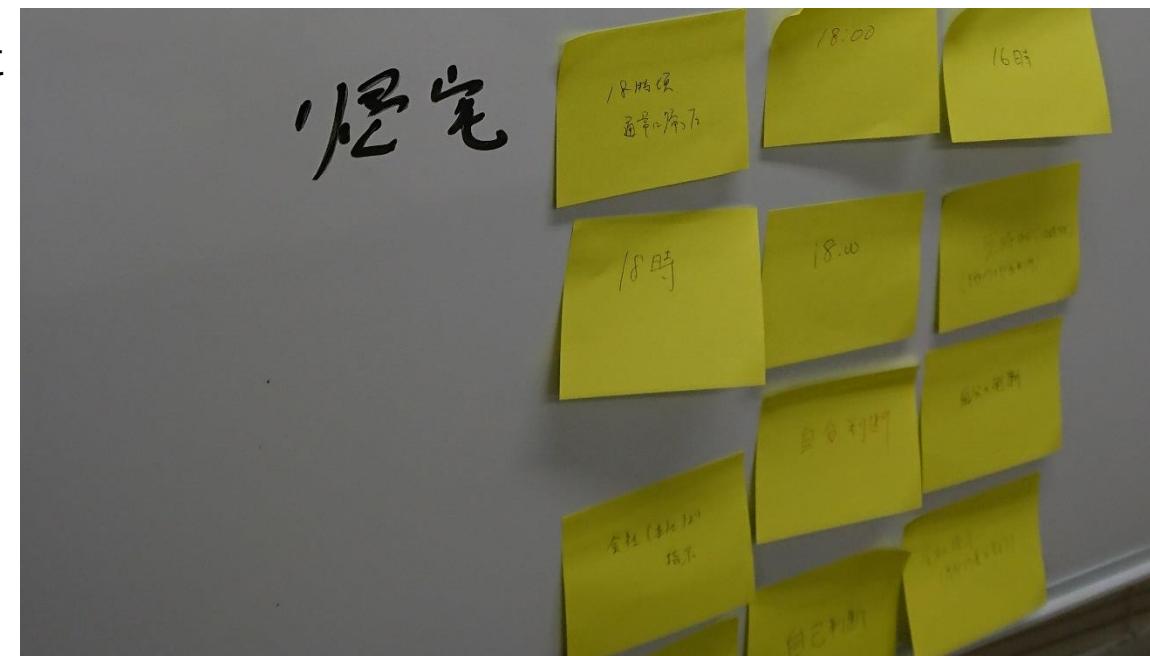
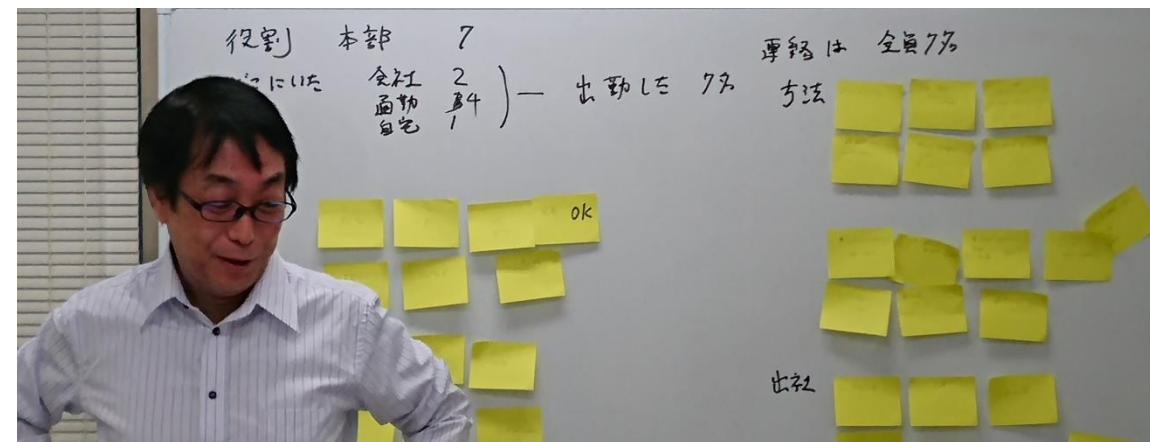
- グループ7名とも対策本部の役割

■ 出退勤状況

- 震災発生時 社内:2名 通勤中:4名 自宅:1名
- ディスカッション参加者は全員出勤した
- 地震発生時出社済 or 昼以降の出社と傾向が分かれた
※社員の出勤率は 9割出社 or 5割未満
- 退社は定時／会社指示／自己判断 と傾向が分かれた

■ 連絡手段

- LINE、Slack、チャット、安否確認システムを利用
- 電話はつながらず



発表：Cグループ（関西事業所の従業員数 50人以下の企業を中心のグループ）

■ 対策本部の場所

- 対策本部の役割 or 指示待ちで傾向が分かれた

■ 出退勤状況

- 震災発生時 社内:1名 通勤中:1名 自宅:3名
- 自宅にいた人 在宅業務: 2名 出社:1名
→テレワーク規定があっても緊急時使えるかが問題
- 出勤率は50%以上が半数、100%も1社あり
- 帰宅困難者の家族に子供や要介護者いた場合の対応をどうするべきか という意見あり

■ 連絡手段

- メール、グループウェアを利用
- 社内SNSがあると良いという意見あり

